

令和7年度第3回 松田町地域公共交通会議 議事録

日 時 令和7年12月11日(木) 14:00~16:10

場 所 松田町役場4階4AB会議室

出席者 構成員：古館会長、山崎副会長、井澤委員、山岸委員、大館委員、北村委員、吉田委員、矢野委員、工藤委員、陶山委員、橘川委員、畑野委員（代理：志村氏）、尾登委員、田中委員（代理：小澤氏）、佐野委員、加納委員、森下委員（代理：山崎氏）、廣野委員（代理：村上氏）、加藤委員（代理：山崎氏）鴨下委員（代理：内川氏）田代委員、早野委員（監事）、宮根委員、遠藤洋一委員、柳澤委員、椎野委員、鍵和田委員、鈴木英幸委員

欠席者：野田委員、山本委員、岡部委員、松島委員、高橋正美委員、澁谷委員、高橋和子委員

事務局：政策推進課

鎌田拓哉、三嶽将也、島秀明

一般社団法人ASHIGARA ON DEMAND 蛭海 友貴

オブザーバー：足柄広域新モビリティサービス推進協議会会長 杉本 洋文

参加者：大井町地域公共交通会議会長 井原 雄人

大井町参事兼企画財政課長 湯川 博之

開成町自治会連絡協議会 永田 雄助

開成町参事兼企画政策課長 岩本 浩二

山北町連合自治会長会副会長 清水 明

山北町参事兼企画総務課長 露木 博文

【議事次第】

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 副町長あいさつ
- 4 議事
 - (1) (御殿場市) 富士山ライナーのダイヤ改正について
 - (2) (富士急モビリティ) 路線バスのダイヤ改正について
 - (3) 松田町A I オンデマンド交通実証実験の運行計画の見直しについて
 - (4) その他
- 5 閉会

【会議概要】

1 開会

- ・事務局より開会のあいさつ。

2 会長あいさつ

- ・お集まりいただきありがとうございます。
- ・委員の皆様には忌憚のない意見をよろしく願います。

3 副町長あいさつ

- ・12月に入って、大変お忙しいところでございますけれどもお集りいただきましてありがとうございます。
- ・議題3につきましては今年度で実施期間を終えるということでご意見いただけたらと思います。
- ・今年一年、大変ご協力いただきましたこと、この場をお借りしまして、感謝申し上げます。

4 議事

○会長

本日の出席状況について報告をお願いいたします。

●事務局

委員 35名のうち 28名出席、欠席者 7名。

※欠席者 7名については委任状の提出あり。

(1) (御殿場市) 富士山ライナーのダイヤ改正について

- ・御殿場市より、資料1の説明。

○会長

ただいまの説明について、何かご意見ご質問等がありましたら、お願いします。

ご意見ないようですので、本件は承認いたします。

御殿場市の職員の方、本日はありがとうございました。(御殿場市退室)

(2) (富士急モビリティ) 路線バスのダイヤ改正について

- ・富士急モビリティ(株)より、内容の説明。

○会長

ただいまの説明について、何かご意見ご質問等がありましたら、お願いします。

ご意見ないようですので、これにて終了とさせていただきます。

(3) 松田町 A I オンデマンド交通実証実験の運行計画の見直しについて

●事務局

- ・事務局より、資料2の説明。
- ・足柄オンデマンドより別紙1～3の説明。

○会長

ただいまの説明について、何かご意見ご質問等がありましたら、お願いします。

○委員

弊社に対して運行委託料がこれまで支払われておらず、多大な影響がある。

委託元である社団法人足柄オンデマンドに何度かけあっても未払いが今日まで続いている状況である。また町にこの状況を相談いたしましてもバス会社と直接契約していませんので社団法人と話をしてくださいとのこと。

こうした状況のなかで、今後、本事業に協力していくことに危惧している。9月をもちまして弊社は運行から手を引いている。すでに瀕死の状態である本事業を継続していくことに疑問を抱いている。

●足柄オンデマンド

本日お答えできるものではなく、理事会・総会等で経営方針について話し合いをして対応を議論していくこととなる。このご意見があつてことは理事長に伝えさせていただきます。

○大井町

- ①今回の資料、変更点のうちどこの部分が協議事項となると考えれば良いか。（運行時間等の変更、運賃、休止の取扱いなど）
- ②費用面を考慮しシステム変更すること。のり一を導入する際にもシステム構築費がかかっていると思うが、変更にあたってはそれらも加味して評価をされるのか。
- ③運行計画変更後、運行日や運行時間を短縮しているにもかかわらず、月間利用者が増える見込みとなっているが、実現性はあるのか。
- ④運行区域の拡充に関して、資料で山北町内の字名が明記されていないので、確認をした方がいい。
- ⑤大井町では往復の利用はしていないというのが数字上に出てきている。一日乗車券は本当に有効なのかというご見解をお聞かせください。
- ⑥3町（大井町、開成町、山北町）からの意見があれば確認したい。

●事務局、足柄オンデマンド、運輸支局

- ①システム変更自体は協議事項ではない。運行日数、時間の変更、運行区域が協議事項。運賃は別途、運賃協議会で協議を行う。今回、運行を行わない期間については、廃止ではなく、準備期間として捉え対応していただくことで運輸支局と協議している。
- ②システム変更にあたっては、新たなシステムの構築費も加味したうえで、そのほうが費用面で優位との判断をしている。また、システムの変更については、足柄オンデマンドにて国交省の補助も活用して行うものである。
- ③2,000人はのり一とのこれまでの実績を踏まえ、タクゾーのシステムでシミュレーションしたうえで算出している。キャンセル数を含めると、乗車希望数は実績の1.5倍から2倍ほどはあると想定しており、それらのデータも含め、あくまで目標値としている。

目標値として示してはいるが、実際どの程度見込まれるか、どの程度の収支見込となるかは本日答えを持ち合わせていないので、算出しなおす必要がある。

④運行区域の拡大に関して、山北町の字名は、向原と岸。

⑤寄の利用者に配慮（変更後の運行計画では、寄⇒駅以外の移動をしたいときに乗り継ぎが必要）し新たに1日乗車券を提案している。

⑥開成町、山北町からは特に意見はなし。

○大井町

③について、本日答え持ってないということであれば、目標値であるという認識のもと、2,000人が目標値として本日の協議を進めるということが適切なのではないか。

○委員

山北町への区域の拡大について、いつ頃からの実施を考えているか。

●事務局

許認可によるが、1月13日からを計画しており、許認可が下り次第、この形での運行を行いたいと考えている。

○委員

13日から全てこの計画で行うというのではなく、許認可の状況次第という認識か。

●事務局

そのとおり。

○委員

到着希望時間を設定できるようにするとのことだが、自宅前までの迎車を行うとなると、自宅内で待つ方が出てきて、乗車に時間を要することも想定され、結果、どんどん時間が遅れていき、到着希望に間に合わないといったことが起きることが懸念される。

●足柄オンデマンド

まだ、システムを導入する前なので、どのような運用となるか分からない部分があるが、そうしたことがないよう検証していきたい。

○会長

一つ新たな試みなので、ぜひ進めてみてください。

○会長

審議事項について、委員の皆さまいかがか。

○大井町

私は個別に反対としたい。

○委員

収支が厳しい状態の中で、経営責任、赤字について誰が責任をおっていくのか。様々な会議に出ているが分からない。

○会長

来年の4月から新たな運行が始まるということかと思うが、実証運行の話か。その先も含めてか。

○委員

どちらも。

●事務局

本事業の目的として、行政からの新たな費用負担なく事業として成立させることがあり、今回のような形で一般社団法人を立ち上げて、そこが民間ノウハウをもって収支を賄っていくという計画のもとで始まったところ。法人の経営そのものについては、法人のなかでの経営の判断が、経営陣のなかでされていくものと考えている。そのなかで町としては収支の改善策の遂行を期待している。

○委員

松田町のほうで責任をもつという解釈でよいか。

●事務局

社団法人の経営については、責任は持てない。皆さんの移動手段の確保については責任をもって行動していく。

○会長

経営については、ここの場で話すのがふさわしいかわかりませんので、法人にてさらに精査されるとのことでしたので、議論を進めていただきたいと考える。誰が責任をとっているのかはその先の話ではなかろうか。

○会長

本日の協議事項については、運行計画の変更ということで、一人反対があったが、進めていくということによろしいか。

○委員

意見なし

○会長

これにて本件は承認といたします。。

5. 閉会

・副会長より閉会のあいさつ

○副会長

- ・より良い方向に進んでいただけるようにいただければと思います。
- ・気温も下がっておりますのでくれぐれも皆様ご健康にはお気をつけたいと思います。